平成29年規程第129号·平成29年4月1日施行

改正

平成30年4月1日 平成30年10月1日規程第136号 平成31年4月1日規程第71号 令和3年4月1日規程第62号 令和4年4月1日規程第51号

東洋大学情報連携学部規程

(趣旨)

第1条 この規程は、東洋大学学則(昭和24年4月1日施行。以下「学則」という。)に基づき、情報連携学部の教育研究に関し必要な事項を定める。

(教育研究上の目的)

第2条 情報連携学部は、学則第4条の2に基づき、学部及び各学科又は専攻の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を、別表第1のとおり定める。

(卒業の認定及び学位授与、教育課程の編成及び実施並びに入学者の受入れに関する方針)

第3条 情報連携学部は、学則第4条の3に基づき、学部及び各学科又は専攻の卒業の認定及び学位 授与に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針並びに入学者の受入れに関する方針を、 別表第2のとおり定める。

(教育課程)

- 第4条 情報連携学部は、学則第39条第1項から第5項までの規定に基づき、各学科又は専攻の教育 課程における科目区分、授業科目の名称、単位数、配当及び履修方法を、別表第3のとおり定める。 (卒業に必要な単位等)
- 第5条 情報連携学部は、学則第52条に基づき、各学科又は専攻の卒業に必要な単位等を、別表第4のとおり定める。
- 2 情報連携学部は、卒業関係科目を履修するための条件を、別表第5のとおり定める。
- 3 情報連携学部は、科目群科目を履修するための条件を、別表第6のとおり定める。 (履修上限単位数)
- 第6条 情報連携学部は、学則第42条第3項に基づき、各学科又は専攻の卒業の要件として学生が修得すべき単位数について、1学期に履修科目として登録することができる単位数を次のとおり定める。

1年次		2 年次		3年次		4年次	
第1学期	第2学期	第3学期	第4学期	第5学期	第6学期	第7学期	第8学期以降
19単位	19単位	24単位	24単位	24単位	24単位	24単位	24単位

(秋学期入学生)

第7条 秋学期入学生の教育課程、履修上限単位数及び卒業については、「情報連携学部秋学期入学生の教育研究に関する内規」に定める。

(改正)

第8条 この規程の改正は、学長が情報連携学部教授会の意見を聴き、学部長会議での連絡調整を経て行う。

附則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則 (平成30年規程第96号)

- 1 この規程は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、平成29年度入学生については、別表第2の3の規定、第6条及び別表第3は、なお従前の例による。

附 則 (平成30年10月1日規程第136号)

この規程は、平成30年10月1日から施行する。

附 則 (平成31年4月1日規程第71号)

- 1 この規程は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、平成30年度以前の入学生については、なお従前の例による。 **附 則**(令和3年4月1日規程第62号)
- 1 この規程は、2021年4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、2020年度以前の入学生については、なお従前の例による。 **附 則**(令和4年4月1日規程第51号)
- 1 この規程は、2022年4月1日から施行する。
- 2 前項の規定にかかわらず、2021年度以前の入学生については、第4条の規定を除き、なお従前の例による。

別表第1から別表第6まで省略(2022年4月1日施行)

情報連携学部情報連携学科

1. 人材の養成に関する目的

コンピュータ・サイエンス教育を基盤とし、チームを組んで、コンピュータを使いこなし、情報を通して連携し、素早くアイデアを形にできるような人材を養成する。

プログラミングを含むコンピュータ・サイエンスの教育を基盤とし、新しいビジネスを構築できるマネージャー人材、新しい公共をシステムとして構築できるコーディネーター人材、新しい製品と新しい情報サービスを技術とデザインの両面から具体化できる人材などいろいろな分野で連携イノベーションを起こせる中核人材を養成する。

2. 学生に修得させるべき能力等の教育目標

学生に対し、以下の能力や素養を修得させることを教育目標とする。

一人でゼロから始めるのではなく、様々な人々と連携し、情報分野の専門スキル、グローバルなコミュニケーション能力、チームで課題解決する能力を修得させる。

多様な専門と能力を持つ人々の連携によって、新しいサービスやイノベーションの実現が初めて可能となる。連携を実現する能力を持たせるため、情報科目群5群(コンピュータ・システム、コンピュータ・ソフトウェア、ユーザ・エクスペリエンス、データ・サイエンス、ICT社会応用)及び連携科目群2群(コミュニティ形成、ビジネス構築)において、情報科学および応用分野の基礎を学ぶとともに、分野横断的なチームで問題解決に当たるプロジェクト型の教育を重視し、「連携」の実務と効果を実体験させる。プログラミング力を育成するとともにプロジェクトマネジメント力、企画力、交渉力、説得力、迅速性などの能力を修得させる。英語教育の強化だけでなく、異なる文化的背景を持つ留学生を含むチームでのプロジェクトの進め方や論理的な思考を身に付けさせ、国際的にコミュニケーションが取れるような力を修得させる。

別表第2 卒業の認定及び学位授与、教育課程の編成及び実施並びに入学者の受入れに関する方針(第3条関係)

情報連携学部情報連携学科

1. 卒業の認定及び学位授与に関する方針

本学部で、以下を身に付け、所定の年限・単位数を満たした者には卒業を認定し、学士の学位を授与する。

- 1. 社会を支える共通基盤としてのコンピュータ・サイエンスの基礎的な知識とスキル、データサイエンスやAIの基礎となる数理系の知識、専門分野や文化的背景の異なる他人とのコミュニケーション能力を身に付けている。 2. 情報科目群5群(コンピュータ・システム、コンピュータ・ソフトウェア、ユーザ・エクスペリエンス、デー
- 2. 情報科目群5群(コンピュータ・システム、コンピュータ・ソフトウェア、ユーザ・エクスペリエンス、データ・サイエンス、ICT社会応用)及び連携科目群2群(コミュニティ形成、ビジネス構築)のうち、情報科目群1つを含む。2つ以上の科目群について、知識と実践的スキルを身に付けている
- を含む、2つ以上の科目群について、知識と実践的スキルを身に付けている。 3. 自分と異なる専門性を持つ、異なる文化的背景を持つ人間とチームを組み、社会における課題を発見し、その解決に貢献できる能力と経験を身に付けている。

2. 教育課程の編成及び実施に関する方針

- 1.1、2年次おいて、全学生を対象に、社会を支える共通基盤としてのコンピュータ・サイエンスの基礎、データサイエンスやAIの基礎となる数理系の知識、世界各国の人々とのコミュニケーション能力を身に付けるための教育を実施する。
- 2. 2年次以降において、情報通信技術による社会イノベーションの一端を担える人材を輩出するため、専門分野として、情報科目群5群(コンピュータ・システム、コンピュータ・ソフトウェア、ユーザ・エクスペリエンス、データ・サイエンス、ICT社会応用)及び連携科目群2群(コミュニティ形成、ビジネス構築)について、講義と、実践的スキルを身に付けるための演習を実施する。
- 3. チームで問題解決に当たるプロジェクト型の実習を重視する。特に、3年次においては、自分と異なる専門性をもつ人間との連携を実践的に学ぶため、長期にわたるスタートアップ型の実習を実施する。
- 4. 4年次においては、専門分野における研究の最先端を知るために、教員の研究室において卒業研究を実施する。
- る。 5. 在学期間を通じて、本学の伝統である哲学を基盤とする様々な教養を身に付けることができる基盤教育科目を 実施する。

3. 入学者の受入れに関する方針

- 1. 情報通信技術が社会を変えていくこと、ネット社会で生活することに共感し、そのことに自身が関わることに 興味と意欲をもつ人材を求める。
- 2. 様々な価値観や興味、生まれ持った国籍など、社会にある多様性を認め、他者との関わりの中で、自分の存在価値を認め、また高められる人材を求める。
- 3. 失敗を恐れず、何にでも前向きに何回でも取り組める人材を求める。
- 4. 入学後の学修に必要な、基礎学力としての数学の学力と論理的思考力を有している人材を求める。

別表第3 教育課程(第4条関係)

(1)情報連携学部情報連携学科 基盤教育科目

(1)情報連携学部情報		科 基盤教育科目			
区分	必修・ 選択の別	科目名	配当学年	単位数	履修方法
哲学・思想	選択必修	井上円了と世界哲学	$1 \sim 4$	2	
哲学・思想	選択必修	哲学概論	$1 \sim 4$	2	
哲学・思想	選択必修	コミュニケーションの哲学	$2\sim4$	2	
哲学・思想		情報と法	$2\sim4$	2	
哲学・思想	選択必修	芸術学	$2\sim4$	2	
哲学・思想		ロジカルシンキング	$2\sim4$	2	
哲学・思想		クリティカルシンキング	$2\sim4$	2	
哲学・思想		情報連携教養講座A	$3 \sim 4$	2	
哲学・思想		情報連携教養講座B	$3 \sim 4$	2	
学問の基礎 (社会科学)	選択	ミクロ経済学	$1 \sim 4$	2	
学問の基礎 (社会科学)	選択	マクロ経済学	$1 \sim 4$	2	
学問の基礎 (社会科学)	選択	国際経済Ⅰ(貿易・開発)	$2 \sim 4$	2	
学問の基礎(社会科学)	選択	国際経済Ⅱ(金融・通貨)	$2 \sim 4$	2	
学問の基礎(社会科学)	選択	金融論 I (市場・構造)	$2 \sim 4$	2	
学問の基礎(社会科学)	選択	金融論Ⅱ(企業金融・システム)	$2 \sim 4$	2	
	選択				
		会計システム	$2 \sim 4$	2	
学問の基礎(社会科学)	選択	まちづくり論	$2 \sim 4$	2	
学問の基礎(社会科学)	選択	環境科学と政策	$2 \sim 4$	2	
学問の基礎(社会科学)	選択	情報連携教養講座C	$3 \sim 4$	2	
学問の基礎(社会科学)国際人の形成(グローバル社	選択	情報連携教養講座D	$3 \sim 4$	2	
国際人の形成(クローハル社会の実際)	選択	異文化理解概論	$1 \sim 4$	2	
国際人の形成(グローバル社 会の実際)	選択	留学のすすめ	$1\sim4$	2	
国際人の形成(グローバル社 会の実際)	選択	中期海外学修	$1\sim4$	2	
国際人の形成(グローバル社 会の実際)	選択	短期海外学修	$1\sim4$	1	
国際人の形成(グローバル社 会の実際)	選択	情報連携教養講座E	$3 \sim 4$	2	
国際人の形成 (グローバル社 会の実際)	選択	情報連携教養講座F	$3 \sim 4$	2	
キャリア・市民形成	選択	プレゼンテーションおよびコミュニケーション学	$2\sim4$	2	
キャリア・市民形成	選択	キャリアデベロップメント論A	$2\sim4$	2	
キャリア・市民形成	選択	キャリアデベロップメント論B	$2\sim4$	2	
キャリア・市民形成 キャリア・市民形成	選択	情報連携教養講座G 情報連携教養講座H	$3 \sim 4$ $3 \sim 4$	2	
健康・スポーツ科学	選択選択	□ 日報連携教養調座日 スポーツ健康科学実技 I A	$1 \sim 4$	1	
健康・スポーツ科学	選択	スポーツ健康科学実技IB	$1 \sim 4$	1	
健康・スポーツ科学	選択	スポーツ健康科学実技IIA	$1 \sim 4$	1	
健康・スポーツ科学	選択	スポーツ健康科学実技IIB	$1 \sim 4$	1	
健康・スポーツ科学	選択	スポーツ健康科学実技ⅢA	$1\sim4$	1	
健康・スポーツ科学	選択	スポーツ健康科学実技ⅢB	$1 \sim 4$	1	
健康・スポーツ科学		スポーツ健康科学実技IVA	$1\sim4$	1	
健康・スポーツ科学	選択	スポーツ健康科学実技IVB	$1\sim4$	1	
健康・スポーツ科学	選択	スポーツ健康科学講義Ⅰ	$1 \sim 4$	2	
健康・スポーツ科学	選択	スポーツ健康科学講義II A	$1 \sim 4$	2	
健康・スポーツ科学	選択	スポーツ健康科学講義IIB	$1 \sim 4$	2	
健康・スポーツ科学 総合・学際	選択選択	スポーツ健康科学演習 I 全学総合 A	$1 \sim 4$ $1 \sim 4$	2	
総合・学際		全学総合B	$1 \sim 4$	2	
総合・学際	選択	全学総合C	$1 \sim 4$	2	
総合・学際	選択	全学総合D	$1 \sim 4$	2	
総合・学際	選択	全学総合E	$1 \sim 4$	2	
総合・学際	選択	全学総合F	$1 \sim 4$	2	
総合・学際	選択	全学総合G	$1\sim4$	2	
総合・学際	選択	全学総合H	$1\sim4$	2	
総合・学際	選択	全学総合 I	$1\sim4$	2	
総合・学際	選択		$1 \sim 4$	2	
総合・学際		全学総合K	$1 \sim 4$	2	
総合・学際		全学総合し	$1 \sim 4$	2	
総合・学際	選択	全学総合M	$1 \sim 4$	2	

国際人の形成 (語学)	選択	IELTS for Study Abroad I Listening/Speaking	$1 \sim 4$	2	
国際人の形成(語学)	選択	IELTS for Study Abroad I Reading/Writing	$1 \sim 4$	2	
国際人の形成(語学)	選択	IELTS for Study Abroad II Listening/Speaking	$1\sim4$	2	
国際人の形成(語学)	選択	IELTS for Study Abroad II Reading/Writing	$1\sim4$	2	
国際人の形成(語学)	選択	Pre-Study Abroad: Listening/Speaking	$1\sim4$	2	
国際人の形成(語学)	選択	Pre-Study Abroad: Writing	$1 \sim 4$	1	
国際人の形成(語学)	選択	Business English Communication	$1 \sim 4$	2	
国際人の形成(語学)	選択	Japanese for Beginners: Theory	$1\sim4$	2	
国際人の形成(語学)	選択	Japanese for Beginners: Practice	$1\sim4$	2	
国際人の形成(語学)	選択	Integrated Japanese I Theory	$1 \sim 4$	2	
国際人の形成(語学)	選択	Integrated Japanese I Practice	$1 \sim 4$	2	
国際人の形成(語学)	選択	Integrated Japanese II Theory	$1 \sim 4$	2	
国際人の形成(語学)	選択	Integrated Japanese II Practice	$1 \sim 4$	2	
国際人の形成(語学)	選択	Integrated JapaneseIII Theory	$1 \sim 4$	2	
国際人の形成(語学)	選択	Integrated JapaneseⅢ Practice	$1 \sim 4$	2	
国際人の形成(語学)	選択	Japanese Reading I	$1 \sim 4$	1	
国際人の形成(語学)	選択	Japanese Reading I	$1 \sim 4$	1	
国際人の形成(語学)	選択	Japanese Reading Ⅲ	$1 \sim 4$	1	
国際人の形成(語学)	選択	Japanese Writing I	$1 \sim 4$	1	
国際人の形成(語学)	選択	Japanese Writing II	$1 \sim 4$	1	
国際人の形成(語学)	選択	Japanese Writing Ⅲ	$1\sim4$	1	
国際人の形成(語学)	選択	Project Work I	$1 \sim 4$	1	
国際人の形成(語学)	選択	Project Work II	$1\sim4$	1	
国際人の形成(語学)	選択	Project WorkⅢ	$1\sim4$	1	
国際人の形成(語学)	選択	Japanese Listening I	$1\sim4$	1	
国際人の形成 (語学)	選択	Japanese Listening II	$1\sim4$	1	
国際人の形成(語学)	選択	Japanese Listening II	$1\sim4$	1	
国際人の形成(語学)	選択	Japanese Culture and Society A	$1\sim4$	2	
国際人の形成(語学)	選択	Japanese Culture and Society B	$1\sim4$	2	
国際人の形成 (語学)	選択	Introduction to Japanology A	$1\sim4$	2	
国際人の形成(語学)	選択	Introduction to Japanology B	$1\sim4$	2	

(2) 情報連携学部情報連携学科 コミュニケーション科目

区分	必修・ 選択の別	科目名	配当学年	単位数	履修方法
必修コミュニケーション科目	必修	リスニング・スピーキング演習 I	1	4	
必修コミュニケーション科目	必修	リスニング・スピーキング演習Ⅱ	1	4	
必修コミュニケーション科目	必修	リーディング·ライティング演習 I	1	2	
必修コミュニケーション科目	必修	リーディング・ライティング演習Ⅱ	1	2	
選択コミュニケーション科目	選択	リスニング・スピーキング演習Ⅲ	2	2	
選択コミュニケーション科目		リスニング・スピーキング演習Ⅳ	2	2	
選択コミュニケーション科目	選択	リーディング・ライティング演習Ⅲ	2	2	
選択コミュニケーション科目	選択	リーディング・ライティング演習IV	2	2	

(3)情報連携学部情報連携学科 情報連携学基盤科目

(3) 用靴里扬于前用单	拟些扬于	付 用報連携子基盤付日			
区分	必修・ 選択の別	科目名	配当学年	単位数	履修方法
数理基礎	必修	情報連携のための確率・統計学I	1	2	
数理基礎	必修	情報連携のための数学 I	1	2	
数理基礎	必修	情報連携のための確率・統計学Ⅱ	2	2	
数理基礎		情報連携のための数学Ⅱ	2	2	
数理基礎	選択	情報連携のための数学Ⅲ	$2\sim4$	2	
数理基礎	選択	情報連携のための物理学A	$2\sim4$	2	
数理基礎	選択	情報連携のための物理学B	$2\sim4$	2	
コンピュータ・サイエンス基礎	必修	コンピュータ・サイエンス概論I	1	4	
コンピュータ・サイエンス基礎	必修	コンピュータ・サイエンス概論Ⅱ	1	4	
コンピュータ・サイエンス基礎	必修	コンピュータ・サイエンス概論Ⅲ	2	2	
コンピュータ・サイエンス基礎	必修	コンピュータ・サイエンス概論IV	2	2	
コンピュータ・サイエンス基礎	必修	コンピュータ・サイエンス基礎演習 I	1	2	
コンピュータ・サイエンス基礎	必修	コンピュータ・サイエンス基礎演習Ⅱ	1	2	
コンピュータ・サイエンス基礎	必修	コンピュータ・サイエンス基礎演習Ⅲ	2	2	
コンピュータ・サイエンス基礎	必修	コンピュータ・サイエンス基礎演習IV	2	2	

(4) 情報連携学部情報連携学科 連携科目

(I) 10 10 10 10 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	N~ 1) 1	11 23/11			
区分	必修・ 選択の別	科目名	配当学年	単位数	履修方法
連携の基礎		情報連携学概論 I	1	2	
連携の基礎		情報連携学概論Ⅱ	1	2	
連携の基礎	必修	情報連携基礎実習I	1	1	
連携の基礎		情報連携基礎実習Ⅱ	1	1	
チーム実習	必修	情報連携チーム実習 I	3	2	
チーム実習	必修	情報連携チーム実習Ⅱ	3	2	

(5)情報連携学部情報連携学科 専門科目

(3) 用報理房子即用		件 导门件目			
区分	必修・ 選択の別	科目名	配当学年	単位数	履修方法
情報科目群	選択必修	プログラミング言語	2	2	
情報科目群	選択必修	コンピュータ・アーキテクチャ	2	2	
情報科目群		オペレーティング・システム	3	2	コンピュータ・システ
情報科目群		コンピュータ・ネットワーク	3	2	ム科目群を選択した場
情報科目群	選択必修	コンピュータ・システム演習 I	2	2	合、必修
情報科目群		コンピュータ・システム演習Ⅱ	2	2	
情報科目群	選択必修	コンピュータ・システム演習Ⅲ	3	2	
情報科目群	選択必修	コンピュータ・システム演習IV	3	2	
情報科目群	選択	コンピュータ・システム論A	$2\sim4$	2	
情報科目群	選択	コンピュータ・システム論B	$2\sim4$	2	
情報科目群	選択	コンピュータ・システム論C	$2\sim4$	2	
情報科目群	選択	コンピュータ・システム論D	$2\sim4$	2	
情報科目群	選択	コンピュータ・システム論E	$2\sim4$	2	
情報科目群	選択	コンピュータ・システム論F	$2\sim4$	2	

情報科目群	湿坦心体	アルゴリズムとデータ構造	2	2	T
情報科目群		データベース	2	2	1
情報科目群		ソフトウェア・エンジニアリング	3	2	1
情報科目群		サイバーセキュリティ	3	2	コンピュータ・ソフト
情報科目群		コンピュータ・ソフトウェア演習Ⅰ	2	2	ウェア科目群を選択し
情報科目群		コンピュータ・ソフトウェア演習Ⅱ	2	2	た場合、必修
.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		コンピュータ・ノフトウェア演習Ⅲ コンピュータ・ソフトウェア演習Ⅲ			
情報科目群		コンピュータ・ノフトリエノ俱音III コンピュータ・ソフトウェア演習IV	3	2	-
情報科目群				2	
情報科目群		コンピュータ・ソフトウェア論A	$2 \sim 4$	2	
情報科目群		コンピュータ・ソフトウェア論B	$2 \sim 4$	2	
情報科目群		コンピュータ・ソフトウェア論C	$2 \sim 4$	2	
情報科目群		コンピュータ・ソフトウェア論D	$2 \sim 4$	2	
情報科目群		コンピュータ・ソフトウェア論E	$2 \sim 4$	2	
情報科目群		コンピュータ・ソフトウェア論F	$2\sim4$	2	
情報科目群		デザイン理論	2	2	
情報科目群		UXデザイン I	2	2	
情報科目群		UXデザインⅡ	3	2	ユーザ・エクスペリエ
情報科目群		ヒューマン・コンピュータ・インタラクション	3	2	ンス科目群を選択した
情報科目群		ユーザ・エクスペリエンス演習 I	2	2	場合、必修
情報科目群		ユーザ・エクスペリエンス演習Ⅱ	2	2	
情報科目群		ユーザ・エクスペリエンス演習Ⅲ	3	2	
情報科目群	選択必修	ユーザ・エクスペリエンス演習IV	3	2	1
情報科目群	選択	ユーザ・エクスペリエンス論 A	$2\sim4$	2	
情報科目群	選択	ユーザ・エクスペリエンス論B	$2\sim4$	2	
情報科目群	選択	ユーザ・エクスペリエンス論C	$2\sim4$	2	
情報科目群	選択	ユーザ・エクスペリエンス論D	$2\sim4$	2	
情報科目群	選択	ユーザ・エクスペリエンス論E	$2\sim4$	2	
情報科目群		ユーザ・エクスペリエンス論F	$2\sim4$	2	
情報科目群	選択必修	データ・サイエンス基礎	2	2	
情報科目群		データ・マイニング論	2	2	1
情報科目群		機械学習と人工知能	3	2	1
情報科目群		ディープ・ラーニング	3	2	データ・サイエンス科
情報科目群		データ・サイエンス演習Ⅰ	2	2	目群を選択した場合、
情報科目群		データ・サイエンス演習Ⅱ	2	2	必修
情報科目群		データ・サイエンス演習Ⅲ	3	2	1
情報科目群		データ・サイエンス演習IV	3	2	1
情報科目群		データ・サイエンス論A	$2\sim4$	2	
情報科目群		データ・サイエンス論B	$2 \sim 4$	2	
情報科目群		データ・サイエンス論C	$2 \sim 4$		
情報科目群		データ・サイエンス論D	$2 \sim 4$	2	
情報科目群		データ・サイエンス論E	$2 \sim 4$	2	
情報科目群		データ・サイエンス論F	$2 \sim 4$	2	
情報科目群		コンピュータ・システム社会応用論	2	2	
		コンピュータ・ソフトウェア社会応用論	2	2	1
情報科目群		ユーザ・エクスペリエンス社会応用論	3	2	-
情報科目群					TOTAACHAUR
情報科目群		データ・サイエンス社会応用論 TCT社会応用液図 I	3	2	ICT社会応用科目群を選出した場合。
情報科目群		ICT社会応用演習 I	2	2	択した場合、必修
情報科目群		ICT社会応用演習Ⅱ	2	2	
情報科目群		ICT社会応用演習Ⅲ	3	2	
情報科目群		ICT社会応用演習IV	3	2	
情報科目群		ICT社会応用論A	$2 \sim 4$	2	
情報科目群		ICT社会応用論 B	$2 \sim 4$	2	
情報科目群		ICT社会応用論C	$2\sim4$	2	
情報科目群		ICT社会応用論D	$2\sim4$	2	
情報科目群		ICT社会応用論E	$2\sim4$	2	
情報科目群	選択	ICT社会応用論F	$2\sim4$	2	

\ 十年 ₹\ □ +\ □ +\	VELLE N MA	地長 ランニニ・ハゼ	0	0	
		地域・コミュニティ分析	2	2	
		地域・コミュニティ創生	2	2	
		持続可能な社会の形成	3	2	コミュニティ形成科目
連携科目群	選択必修	公共空間とコミュニティデザイン	3	2	群を選択した場合、必
連携科目群	選択必修	コミュニティ形成演習 I	2	2	件で選択した場合、必 修
連携科目群	選択必修	コミュニティ形成演習Ⅱ	2	2	115
連携科目群	選択必修	コミュニティ形成演習Ⅲ	3	2	
連携科目群	選択必修	コミュニティ形成演習IV	3	2	
連携科目群	選択	コミュニティ形成論A	$2\sim4$	2	
連携科目群	選択	コミュニティ形成論B	$2\sim4$	2	
連携科目群	選択	コミュニティ形成論C	$2\sim4$	2	
連携科目群	選択	コミュニティ形成論D	$2\sim4$	2	
連携科目群	選択	コミュニティ形成論E	$2\sim4$	2	
連携科目群	選択	コミュニティ形成論F	$2\sim4$	2	
連携科目群	選択必修	ビジネス構築基礎	2	2	
連携科目群	選択必修	経営論	2	2	
連携科目群	選択必修	マーケティング	3	2	
連携科目群	選択必修	制度設計論	3	2	ビジネス構築科目群を
連携科目群	選択必修	ビジネス構築演習 I	2	2	選択した場合、必修
連携科目群	選択必修	ビジネス構築演習Ⅱ	2	2	
連携科目群	選択必修	ビジネス構築演習Ⅲ	3	2	
連携科目群	選択必修	ビジネス構築演習IV	3	2	
連携科目群	選択	ビジネス構築論A	$2\sim4$	2	
連携科目群	選択	ビジネス構築論B	$2\sim4$	2	
連携科目群	選択	ビジネス構築論C	$2\sim4$	2	
連携科目群	選択	ビジネス構築論D	$2\sim4$	2	
連携科目群	選択	ビジネス構築論E	$2\sim4$	2	
連携科目群	選択	ビジネス構築論F	$2\sim4$	2	
卒業論文	必修	卒業研究 I	4	2	
卒業論文	必修	卒業研究Ⅱ	4	2	
卒業論文	必修	卒業論文	4	4	

別表第4 卒業に必要な単位等(第5条第1項関係)

学科	単位数
	1) 卒業要件となる科目で124単位以上を修得すること。
	2) 基盤教育科目は、哲学・思想から2単位以上を修得すること。
	3) コミュニケーション科目は、必修科目を含み12単位以上を修得すること。
桂邦 油梅兴如桂邦·声梅兴利	4) 情報連携学基盤科目は、必修科目28単位を修得すること。
情報連携学部情報連携学科	5) 連携科目は、必修科目10単位を修得すること。
	6) 情報科目群5群および連携科目群2群から、情報科目群1つを含む2つの科目群を選択し、各科目群で定める必修科目16単位を修得し、かつ選択した科目群およびその他の科目群から10単位以上、合計42単位以上を修得すること。
	7) 専門科目において、卒業論文の必修科目8単位を修得すること。

別表第5 卒業関係科目の履修に必要な単位等(第5条第2項関係)

卒業研究を履修するためには、下記を満たさなければならない。

十未明元で限度するためには、	「記を何たさなりなけるない。
学科	単位数
	1) 卒業要件となる科目で100単位以上を修得すること。
	2) コミュニケーション科目は、必修科目を含み12単位以上を修得すること。
	3) 情報連携学基盤科目は、必修科目28単位を修得すること。
情報連携学部情報連携学科	4) 連携科目は、必修科目10単位を修得すること。
	5) 情報科目群5群および連携科目群2群から、情報科目群1つを含む2つの科目群を選択し、各科目群で定める必修科目から合計24単位以上を修得すること。

別表第6 科目群科目の履修に必要な単位等(第5条第3項関係)

科目群科目を履修するためには、下記を満たさなければならない。

学科	単位数
情報連携学部情報連携学科	1) コミュニケーション科目、情報連携学基盤科目、連携科目のうち1年次の必 修科目を26単位以上修得すること。